

# 実用英語教育学会第 10 回研究会 (Zoom によるオンライン開催) のご案内

ビジョン 3-16: ICT と英語教育  
—コロナ禍で英語教育はどう変わったか—

延期された東京五輪・パラリンピックももうすぐ開催です。新型コロナウイルスがまだまだ猛威をふるっているなかで、日本や世界でいま起こっていること、これから北海道でできることについて学び、考え、できることがあれば実践していきたいものですね。実践報告で小熊先生の高校における取組みについての情報も得つつ、講演で石塚先生より「ICT と英語教育」にかかわる多方面の情報を得る機会となれば幸いです。困難な状況下にありながら、全国各地で英語を子どもたちの日常生活の中に定着させようと日々奮闘しておられる先生方が、日々の教育現場で最大限に生かしているための指針やインスピレーションを得る機会となりますように。

日 時: 2021 年 6 月 20 日(日) 受付:9:45~  
研究会 午前 10:00~12:35

場 所: Zoom によるオンライン開催(申込者に前日にメールでリンク URL を送付)  
参加費: 無料

\* 前日に ZOOM の URL をお送りしますので、事前のお申し込みが必要になります。

参加のお申込みは **6 月 18 日(金)まで**に下のリンクから専用フォームでお願いいたします。

<https://forms.gle/XDqwm6PkG7s87xTV7>

定 員: 100名

## 大会事務局

実用英語教育学会 (SPELT) 事務局  
〒065-8567 札幌市東区北 16 条東 9 丁目 1 番 1 号  
札幌大谷大学社会学部地域社会学科 石川希美 研究室内  
TEL: 011-742-1651 (代)  
FAX: 011-742-1654 (※社会学部石川希美宛てと明記してください)  
E-mail: info@spelt.main.jp (事務局担当者共有アドレス)

## プログラム (敬称略)

- 9:30 役員はオンライン会場 (Zoom) に集合  
9:45~ 受付 (Zoom 入室) 開始  
10:00-10:10 開会挨拶・司会: 三浦 寛子 (北海道科学大学)  
会長挨拶: 釣 晴彦 (札幌学院大学)  
10:10-10:50 実践報告: 小熊 あずさ (札幌新陽高等学校)  
(30 分発表、10 分質疑応答)  
10:50-10:55 休憩  
10:55-11:00 講師紹介: 釣 晴彦 (札幌学院大学)  
11:00-12:30 講演: 石塚 博規 (北海道教育大学旭川校)  
(80 分講演、10 分質疑応答)  
12:30-12:35 閉会挨拶: 石川 希美 (札幌大谷大学)

10:10-10:50

実践報告：小熊 あずさ 先生(札幌新陽高等学校)

(30分発表、10分質疑応答)

演題『札幌新陽高校のICT教育の実践と今後の課題—コロナ2年目を迎えて—』

---

発表概要：

昨年度より本格的に実践している本校のICT教育の現状と今後の課題についての情報を共有する。

11:00-12:30

講演：石塚 博規 教授(北海道教育大学旭川校)

(80分講演、10分質疑応答)

演題『EdTechが変える英語教育—1人1台時代を迎えて—』

---

講演概要：

2021年度から小中学校で本格的に1人1台環境が導入され、ICT環境整備ではOECD諸国の中で最も遅れていた我が国もようやく足並みをそろえることになった。もともと英語教育とICTは親和性が高いと言われていたが、これまでICTが英語教育に果たしてきた役割は何だったのか、また1人1台環境となった今、そしてこれから、ICTがどのような役割を担っていくのかをハンズオンも交えながら考えてみたい。

---

講演者プロフィール：【石塚 博規 教授】(北海道教育大学旭川校)

---

旭川市生まれ。北海道教育大学及び北海道大学情報科学研究院で大学院修了

1980年4月 札幌市立高校

2000年4月 札幌市教育委員会

2002年4月 北海道東海大学

2008年4月 北海道教育大学旭川校教授（現在に至る）

北海道英語教育学会会長、小学校英語教育学会常任理事を歴任。

現在、東川町研究開発学校運営指導委員、富良野市英語教育推進協議会委員、美深町英語教育推進研究会運営指導委員。

趣味：マラソン